

2 議題（１）一般廃棄物処理基本計画の策定について

ア ごみ処理に係る本市の現状と課題について

1 標準的な指標による評価

本市のごみ処理について、国による「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール」を利用して、令和２年度実績を基に循環型社会形成、経済性の視点から全国の類似自治体（本市と産業構造等が類似した団体）及び愛知県内の市（政令指定都市、中核市、旧特例市除く）との比較評価を行いました。

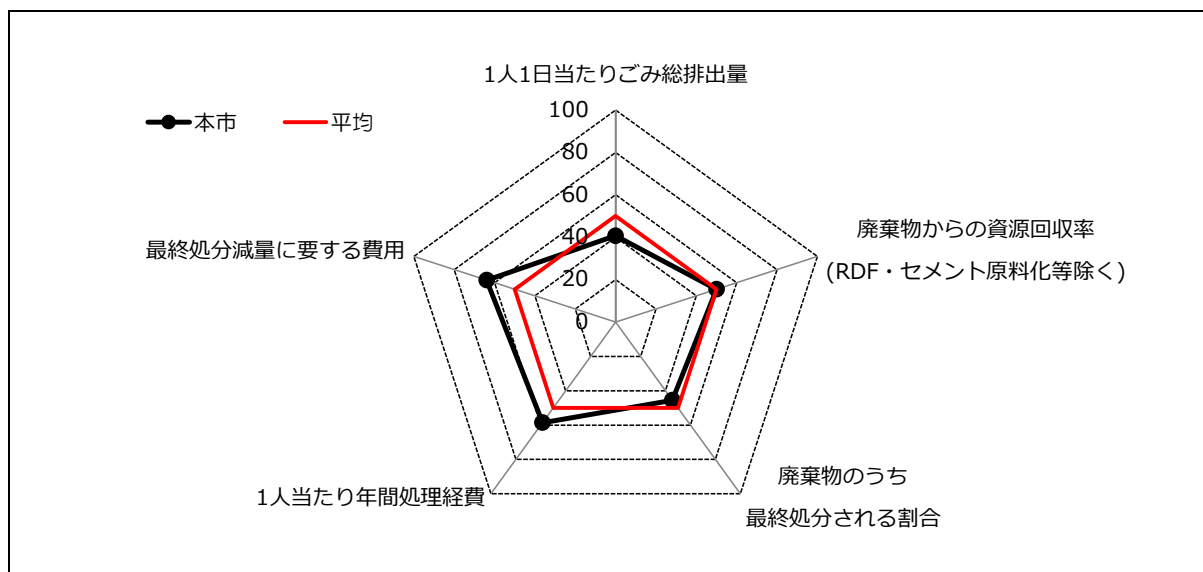
指標について

指標		指数の見方
循環型社会形成	1人1日当たりのごみ総排出量	指数が大きいほど、ごみ排出量は少なくなる。
	廃棄物からの資源回収率 (RDF・セメント原料化等除く)	指数が大きいほど、資源回収率は高くなる。
	廃棄物のうち最終処分される割合	指数が大きいほど、最終処分される割合は小さくなる。
経済性	1人当たり年間処理経費	指数が大きいほど、1人当たりの年間処理経費は少なくなる。
	最終処分減量に要する費用	指数が大きいほど、費用対効果は高くなる。

（１）全国の類似自治体間の比較評価

全国の類似自治体（10団体）間で比較評価を行ったところ、本市は5つの指標のうち経済性の評価については平均以上でしたが、循環型社会形成の評価については「1人1日当たりのごみ総排出量」と「廃棄物のうち最終処分される割合」が平均以下でありました。

類似自治体	都市形態	都市	
	人口区分	Ⅳ	150,000人以上
	産業構造	2	Ⅱ次・Ⅲ次人口 90%以上、 Ⅲ次人口 65%未満

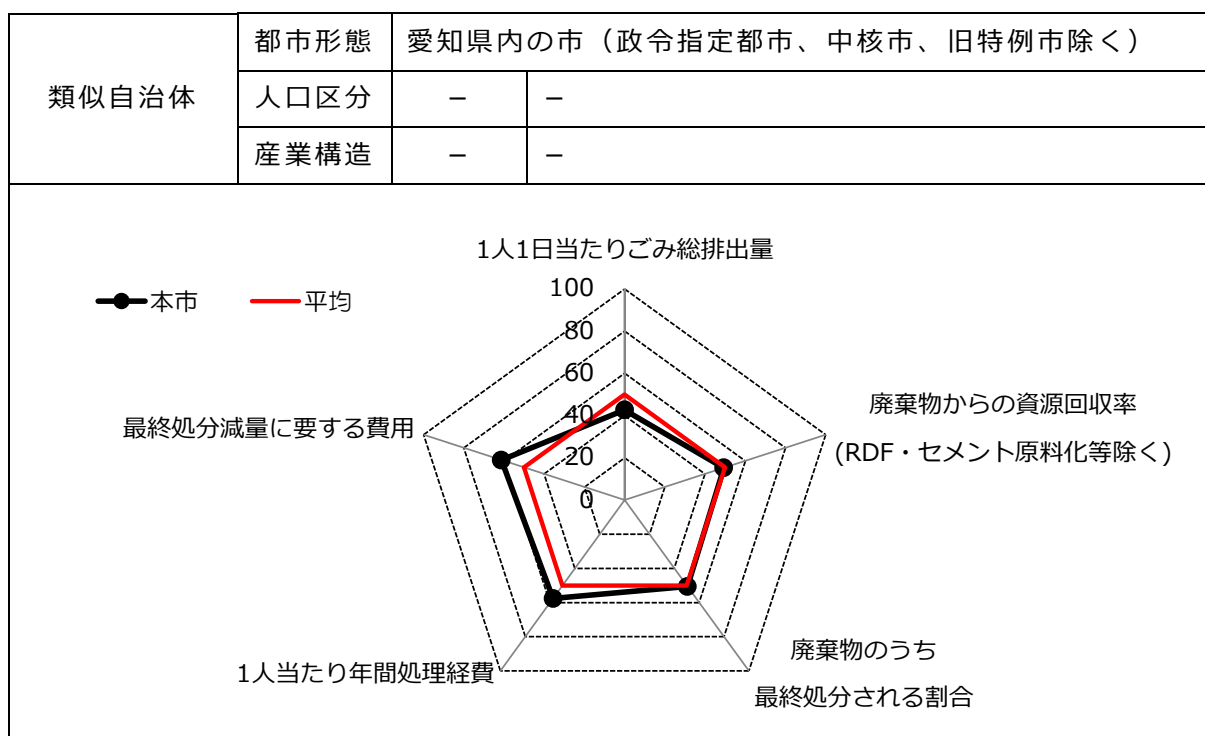


全国類似自治体の状況

自治体	人口 (人)	1人1日当たり ごみ総排 出量 (g/人日)	廃棄物か らの資源 回収割合 (RDF・セメ ント原料化等除く)	廃棄物の うち最終 処分され る割合	1人当た り年間処 理経費 (円/人年)	最終処分 減量に要 する費用 (円/t)
愛知県 刈谷市	153,021	963	0.183	0.087	10,015	27,252
茨城県 日立市	173,750	964	0.190	0.039	8,905	25,737
栃木県 小山市	167,382	889	0.212	0.044	12,878	40,866
富山県 高岡市	169,198	957	0.194	0.109	10,559	32,335
岐阜県 大垣市	158,342	884	0.185	0.037	13,395	37,462
静岡県 磐田市	169,490	767	0.122	0.091	9,337	32,605
愛知県 安城市	190,155	907	0.181	0.078	13,245	42,845
愛知県 小牧市	151,920	895	0.362	0.022	13,784	41,855
三重県 鈴鹿市	199,249	935	0.100	0.025	15,941	45,875
広島県 東広島市	188,929	947	0.094	0.153	10,788	34,817
平均	—	911	0.182	0.069	11,885	36,165

(2) 愛知県内の市（政令指定都市、中核市、旧特例市除く）間の比較評価

愛知県内の市（32団体）間で比較評価を行ったところ、全国の類似自治体間の比較と同様、本市は5つの指標のうち経済性の評価については平均以上でしたが、循環型社会形成の評価の「1人1日当たりのごみ総排出量」は平均以下でありました。



愛知県内の市（政令指定都市、中核市、旧特例市除く）の状況

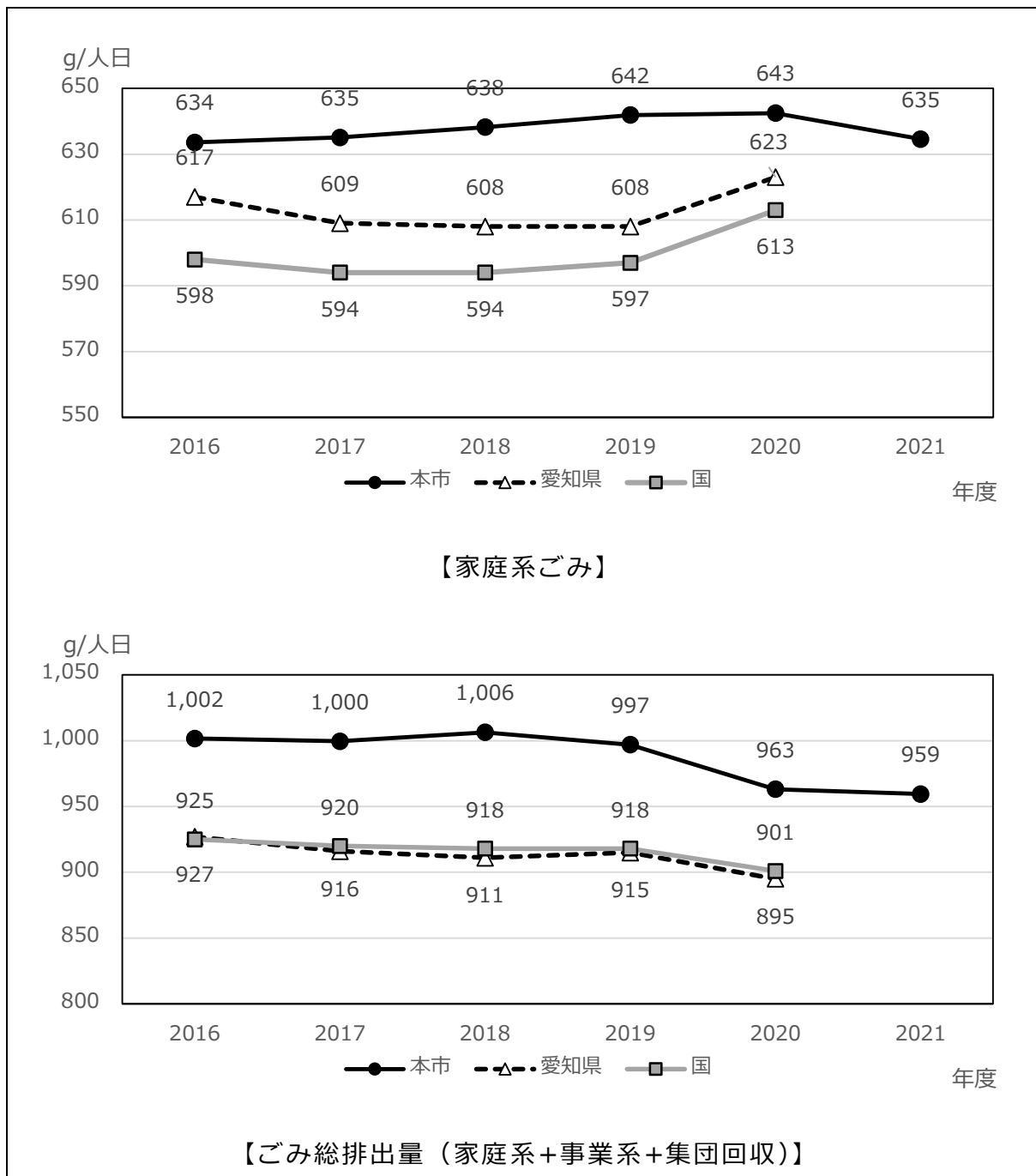
自治体	人口 (人)	1人1日当たり のごみ総排 出量 (g/日)	廃棄物か らの資源 回収割合 (RDF・セム 原料化等除く)	廃棄物の うち最終 処分され る割合	1人当た り年間処 理経費 (円/人年)	最終処分 減量に要 する費用 (円/t)
刈谷市	153,021	963	0.183	0.087	10,015	27,252
瀬戸市	129,131	843	0.138	0.114	7,431	24,507
半田市	119,590	1,078	0.244	0.125	9,983	28,998
豊川市	186,780	985	0.251	0.039	12,242	33,249
津島市	61,827	747	0.088	0.067	9,268	30,774
碧南市	72,784	993	0.158	0.105	16,385	46,809
安城市	190,155	907	0.181	0.078	13,245	42,845
西尾市	171,537	1,053	0.155	0.120	11,647	31,745
蒲郡市	79,762	1,127	0.172	0.103	13,814	35,199
犬山市	73,469	814	0.195	0.124	12,180	44,661
常滑市	59,177	1,126	0.274	0.129	14,865	38,515
江南市	100,364	715	0.228	0.082	12,497	48,236
小牧市	151,920	895	0.362	0.022	13,784	41,855
稲沢市	136,315	779	0.169	0.090	10,202	37,298
新城市	45,439	919	0.225	0.120	15,038	48,686
東海市	114,755	844	0.135	0.093	17,275	60,948
大府市	92,959	849	0.311	0.032	9,639	31,478
知多市	85,422	752	0.121	0.133	18,737	73,781
知立市	72,281	875	0.145	0.090	10,667	33,640
尾張旭市	83,845	835	0.205	0.106	7,484	24,607
高浜市	49,195	858	0.129	0.100	16,223	53,996
岩倉市	48,034	644	0.285	0.024	13,788	57,044
豊明市	68,928	765	0.221	0.030	9,914	35,894
日進市	92,396	812	0.248	0.048	10,143	32,633
田原市	61,077	1,084	0.333	0.110	21,066	57,082
愛西市	62,743	761	0.094	0.067	11,192	37,076
清須市	69,390	714	0.132	0.143	14,063	50,727
北名古屋	86,243	836	0.138	0.106	13,092	45,088
弥富市	44,338	877	0.071	0.069	9,167	26,464
みよし市	61,234	887	0.165	0.098	16,281	52,293
あま市	89,040	730	0.081	0.093	12,389	48,748
長久手市	60,024	860	0.165	0.110	7,021	22,350
平均	—	873	0.188	0.089	12,523	40,765

2 国、県との比較（1人1日当たりのごみ排出量）

本市の1人1日当たりのごみ排出量は、国や愛知県の平均より高い数値で推移しています。

家庭系ごみの令和2年度（2020年度）では、国と愛知県の平均が上昇したことで本市との差が小さくなっていますが、ごみ総排出量については、国や愛知県の平均と同様に推移しています。

国・県平均との比較（1人1日当たりごみ排出量）



資料：環境省「一般廃棄物処理実態調査」（国及び愛知県）

3 ごみ排出量の内訳と推移

本市のごみ排出量の内訳と推移は、下表のとおりです。総排出量における令和2年度の減少はコロナ禍の影響が考えられます。

項目		年度	単位	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
人 口			人	150,061	150,843	151,622	152,576	153,021	152,616
燃やせるごみ	家庭系	収集	t/年	26,034	25,839	25,949	26,470	25,811	25,415
		直接搬入	t/年	1,867	2,002	2,115	2,077	2,413	2,340
	事業系	収集	t/年	11,072	11,357	11,390	10,960	9,630	9,661
		直接搬入	t/年	4,829	4,712	5,081	5,000	4,833	5,142
	計	t/年	43,802	43,910	44,535	44,507	42,687	42,558	
不燃ごみ	家庭系	収集	t/年	744	780	839	882	926	847
		直接搬入	t/年	499	711	363	390	215	332
	事業系	収集	t/年	19	19	19	19	19	17
		直接搬入	t/年	6	4	19	44	9	14
	計	t/年	1,268	1,514	1,240	1,335	1,169	1,210	
資源ごみ	家庭系	収集	t/年	3,010	2,950	2,929	2,903	3,000	2,982
		直接搬入	t/年	671	637	674	694	671	597
	事業系	収集	t/年	78	75	70	69	65	65
		直接搬入	t/年	173	161	163	176	161	150
	計	t/年	3,932	3,823	3,836	3,842	3,897	3,794	
粗大ごみ	家庭系	収集	t/年	65	64	76	83	83	119
		直接搬入	t/年	1,738	1,918	2,307	2,273	2,683	2,634
	事業系	収集	t/年	0	0	0	0	0	0
		直接搬入	t/年	104	73	126	349	175	177
	計	t/年	1,907	2,055	2,509	2,705	2,941	2,930	
有害その他	家庭系	収集	t/年	74	68	69	71	85	83
	事業系	直接搬入	t/年	600	534	569	570	582	639
	計	t/年	674	602	638	641	667	722	
合計			t/年	51,583	51,904	52,758	53,030	51,361	51,214
家庭系ごみ			t/年	34,702	34,969	35,321	35,843	35,887	35,349
事業系ごみ			t/年	16,881	16,935	17,437	17,187	15,474	15,865
集団回収			t/年	3,276	3,132	2,930	2,637	2,431	2,232
総排出量			t/年	54,859	55,036	55,688	55,667	53,792	53,446

イ ごみ処理の新たな動向について

1 プラスチックの資源循環

国は、「プラスチック資源循環戦略」（令和元年5月）を策定し、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（以下「プラスチック資源循環促進法」という。）（令和3年6月）を制定しました。

この法律は、プラスチック使用製品の使用合理化、市区町村によるプラスチック廃棄物の再商品化並びに分別収集、事業者による自主回収及び再資源化を促進するための措置等を講じ、あらゆる主体におけるプラスチックの資源循環の取り組みを促進するものとなっています。

本市においても、国の動向を注視しつつ、プラスチックの資源循環の促進等に向けたごみ処理体制を構築していく必要があります。

（参考）プラスチック資源循環促進法による個別の措置事項

	法での措置事項（概要）	対 象	対 象 者
設計 ・ 製造	プラスチック使用製品 設計指針	プラスチック使用製品	プラスチック使用製品 製造事業者等
販売 ・ 提供	特定プラスチック使用製品 の使用の合理化	特定プラスチック使用 製品（12品目）	特定プラスチック使用 製品提供事業者（小売・ サービス事業者等）
排出 ・ 回収 ・ リサイクル	市区町村による分別収集・再商品化	プラスチック使用製品 廃棄物	市区町村
	製造・販売事業者等による 自主回収・再資源化	自らが製造・販売・提供 したプラスチック使用 製品	プラスチック使用製品 の製造・販売事業者等
	排出事業者による排出の 抑制・再資源化等	プラスチック使用製品 産業廃棄物等	排出事業者

2 食品ロス削減の推進

日本において、まだ食べられるのに様々な理由によって捨てられた「食品ロス」の排出量は、令和2年度で家庭から247万トン、1人1日当たり113グラムと推定されています。

食品ロスは、持続可能な開発目標（SDGs）の中で「2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の1人当たりの食料の廃棄を半減させる。」と提唱されており、国においても「食品ロスの削減の推進に関する法律」（令和元年10月）が施行されるなど、世界的に注目されています。

このような社会情勢を踏まえ、国、愛知県は下表のとおり目標値を設定して各種施策を展開しており、本市においても目標値を設定して、食品ロス削減に対する取り組みを実施する必要があります。

食品ロス削減に関する国、愛知県の目標

区分	目標年度	目標値
家庭系食品ロス発生量	2030	国：2000年度（433万トン）比半減 県：2000年度（35.6万トン）比半減
事業系食品ロス発生量	2030	国：2000年度（547万トン）比半減 県：2000年度（46.9万トン）比半減
食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合	国：2025 県：2026	国：2020年度 76.6% → 2025年度 80% 県：2020年度 82.6% → 2026年度 85%

2 議題（2）市民アンケート調査の実施について

1 調査目的

この調査は、市民のごみの分別や減量、食品ロスに関する意識等を把握し、刈谷市の今後のごみ減量等に向けた一般廃棄物処理基本計画等を策定するための基礎資料として活用することを目的として実施する。

2 調査対象

住民基本台帳に登録されている満18歳以上の市民1,000人（無作為抽出）

3 調査方法

郵送による配布、回収

4 調査期間

令和5年3月上旬から3月中旬

5 調査項目（6項目、13問 別添アンケート調査票（案）参照）

	項目	把握事項
1	回答者について	回答者の性別、年齢、居住地域、家族構成、住居形態
2	情報入手について	ごみに関する情報の入手先
3	ごみの減量や環境問題について	ごみの減量、環境問題に対する関心度 生ごみの処理方法 ごみ袋の料金に対する意見
4	プラスチックごみの分別について	プラスチックごみの分別方法の認知度 ストロー等の分別方法の変更に対する意見
5	食品ロスについて	食品ロスの発生原因 食品ロス削減に対する意識と取組状況
6	自由意見	ごみの分別、収集などに関する意見、要望

3 その他（１）リユースに関する取り組みについて

粗大ごみとして排出された家具などのリユース活動を促進するため、令和４年１２月２２日に株式会社ジモティーと協定を締結しました。

1 株式会社ジモティー（本社：東京都品川区）について

株式会社ジモティーは、日本全国各地域のさまざまな情報が掲載される掲示板サイトを運営する企業です。

日本全国の自治体と連携してごみの減量と循環型社会の推進に取り組んでおり、本市は、全国で６６番目の連携自治体となりました。

2 ジモティーの特徴

地域の情報掲示板にて、家庭で不要になった家具などを紹介し、それを必要とする人を結びつけるサービスを提供しています。

誰でも簡単に情報を発信したり、入手することができ、利用料、手数料は無料で、物品の譲渡、販売は、個人間で行います。

3 ジモティーとの協定締結の効果

市民の方に、市としてジモティーを紹介することができ、リユースの手段が広がることで、粗大ごみの減量が期待できます。

